2011 年日本国内及び日系海外のボンド磁石生産推定

企画委員長　　吉田洋一

企画委員会では日本ボンド磁性材料協会の事業の一つであります国内及び海外でのボンド磁石の生産・市場動向を調査報告しております。会員会社から提出された国内・海外の生産実績と、例年 12 月に開催しております世界ボンド磁石討論会での情報をもとに、企画委員会で生産重量及び金額の推定値を算出しております。

2011 年の世界の磁石生産はレアアース原材料価格の高騰とタイの洪水の影響によって大きく変動しました。希土類焼結磁石の生産が減り焼結フェライト磁石の生産が増えております。一方ボンド磁石でも同様に影響を受けましたが、焼結磁石より影響は小さかったと見られます。

1. フレキシブルフェライトボンド磁石

フレキシブルフェライトボンド磁石の主な用途である、マイクロモータ用は東日本大震災の影響は小さかったが、タイ洪水の影響で 20~30% の減産になったと見られます。一方シート分野では、震災後の落ち込みがあったが、後半大きく回復したと見られます。全体的には、国内海外とも日系メーカーの生産は昨年同等と見られます。今後は中国メーカーの適正コスト化の動きや国内の高特性品の開発などで巻き返しが期待されます。

2. リジッドフェライトボンド磁石

リジッドフェライトボンド磁石の国内生産は、東日本大震災の影響を受けたが、第 3Q までにカバーし、タイ洪水の影響も通年の生産金額に影響するほどではなかったと思われます。

一方、リジッドフェライトボンド磁石のなかで最も生産量の多いプリンター用マグロールの生産は、第 1Q、第 2Q は順調であったが、第 3Q になって減産になり、リジッドフェライトボンド磁石の通年の生産量も 7% 程度減少したと見られます。

リジッドフェライトボンド磁石の海外の生産は引き続き日系メーカーが中心になっているが、国内同様 5% 程度の減少と見られます。

3. 希土類ボンド磁石

希土類ボンド磁石の生産は MQ 社の磁粉出荷量が 2009 年後半から増加し、HDD 用などのスピンドルモータ用や車載用などの分野で生産増が見られました。レアアース原材料の価格暴騰で希土類焼結磁石の環境が厳しくなっているなかで 2010 年～ 2011 年 2Q までは、希土類ボンド磁石の生産には大きな影響はまだ出ていませんでした。しかし第 3Q からは磁粉価格が急騰し、原材料暴騰の影響が急速に広がりました。またタイ洪水の影響によってマグネットメーカーが被害を受け生産への影響が出ましたが、マグネット生産は他地域でカバーされモータ生産数は 2010 年より増加したと見られます。

日系メーカーの生産は国内では材料高騰による在庫・生産調整の影響を受け、海外ではタイ洪水の影響を受けて減少し、中国メーカーのシェアが増えたと見られます。

例年日系メーカーの国内海外生産の金額を発表していましたが。2011 年の希土類ボンド磁石の生産金額については、第 3Q 以降の価格変動（値上げ幅）が大きく、金額推定が不確かになるおそれが大きいため、金額表示を行わないことと致します。ご理解の程お願い致します。

国内ボンド磁石生産推定

	２０１０年				２０１１年			
	重量　T	前年比%	金額億円	前年比%	重量　T	前年比%	金額億円	前年比%
フレキシブル	2,600	103	19	98	2,600	100	20	105
リジッド	7,000	123	105	125	6,500	93	97	93
希土類	600	167	97	168	550	92	＊	＊
合計	10,200	119	221	137	9,650	95	＊	＊

＊　金額表示を取りやめました。

2011 年日本国内及び日系海外のボンド磁石生産金額推定

	国内		海外		合計	
	金額億円	前年比%	金額億円	前年比%	金額億円	前年比%
フレキシブル	20	100	5	100	24	100
リジッド	97	93	90	95	187	94
希土類	(550 トン)		(2,200 トン)			
合計	117	137	95	157	211	149

＊　世界の希土類ボンド磁石の生産重量は、2010 年 7,000 トン、2011 年 6,900 トンと推定します。